

# 令和3年度事業計画

## I 基本方針

少子高齢化の進行や全国的な課題となっている人手不足問題の中、高齢者が働くことを通じて自らの生きがいの充実を図るとともに、地域社会の活性化に寄与するシルバー人材センター事業の役割はますます重要となっています。

しかしながら、コロナ禍により発注者からの事業規模の縮小要請や、入会説明会、各種会議等の縮小や中止の措置を取らざるを得ない状況となるなど、当面、この厳しい状況は続くものと思われませんが、令和3年度は新しい生活様式に対応しつつ、会員の拡充と就業機会の確保に取り組んでいきます。

また、感染拡大の影響により計画していた会議等の縮小、中止のため、十分な検討ができなかった課題は再度、取り組む等、地域社会に頼りにされるシルバー人材センターを目指し、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員、事務局一体となって事業推進に取り組んでまいります。

## II 事業計画

### 1 財政基盤の強化

- (1) 多様な就業ニーズ、新たな日常に対応した職種については継続して検討します。
- (2) 地域社会からの理解、応援を広く得るため賛助会員の拡充に努めます。
- (3) 管理経費等の検証を行い、経費に無駄が無いよう努めます。

### 2 受注体制の強化

#### (1) 会員の入会促進

「第2次会員100万人達成計画」は4年目を迎えますが、「一人一会員入会」を目標に、会員の拡充に努めます。

「3密」の回避等、様々な制約はありますが、各区開催の「出張相談窓口」は新たに地域班の協力を得、その他北海道シルバー人材センター連合会主催のシルバー事業説明会、札幌市主催のシニア層を対象とした仕事説明会等への参加等、あらゆる機会を利用して入会促進に努めます。

#### (2) 就業開拓の推進

- ① 公共団体へは、随意契約条項による発注業務の拡大要請の他、札幌市生活支援体制整備事業には協議体の一員として、家事援助サービス等の就業を通じて事業推進に寄与していきます。
- ② 民間事業所へは、就業機会創出員による積極的な訪問活動が難しい状況の中、業種等に的を絞る等、工夫を凝らした効果的な活動により就業機会の開拓に努めます。

- ③ 一般家庭へは、植木の手入れや冬囲い等、継続的に需要が発生する仕事の再利用案内、また、コロナ禍での地域の困りごとが就業に結びつくケースもあることから、会員自らも「一人一仕事開拓」を目標に、就業機会の拡大に取り組みます。

### (3) 会員の技術・技能の向上

地域の就業ニーズの受け皿として頼りにされるためには、求められるレベルの高い仕事をする必要があります。

技能研修会は、受講後一定期間を経過した会員を対象とした「更新研修」をはじめ、各レベルに見合った受講対象者での開催、外部講師については研修職種の範囲の拡大も視野に入れ更なる内容の充実を図ります。併せて、各地域での自主研修の開催についても推奨していきます。

また、派遣会員に対する「キャリア形成支援」を目的とした研修会も継続実施します。

## 3 就業体制の整備

### (1) 就業機会の拡大

- ① 特定の会員に就業機会が偏ることを避けるためにも「共働、共助」の理念に基づくワークシェアリング（仕事の分かち合い）は継続して取り組みます。
- ② コロナ禍による会議等の活動自粛に対応するため、自宅等で情報が得られるようパソコン、スマホ等を利用したシステムの検討に取り組みます。
- ③ 「派遣事業」は今後も人手不足分野での需要が見込まれることから、内部事務処理体制の充実を図りつつ、適正に取り組みます。

### (2) 適正就業の推進

「ガイドライン」等を活用した適正就業は今後も継続して推進します。

### (3) 会員継続調査の実施

引き続き以下の目的により調査を実施します。

- ① 事業活動費等の無駄を避けるため明確な継続会員数を把握
- ② 会員の希望職種の変更等を把握し、未就業会員の解消策に活用
- ③ 会員の意見や提案等をセンターの事業運営に活用

## 4 地域班・職群班組織の充実

### (1) 地域班活動の活性化

- ① 地域班は、会員の自主的、自発的な活動を促し、個々の参画意識や相互の連帯感を高めるために重要な役割を果たします。今後も「自主・自立」の理念のもと、女性部を含めた地域班活動が活発に実施できるよう取り組みます。
- ② 会員拡大や仕事の開拓等を目的とした普及・啓発活動は、各地域班で創意工夫しながら実施します。
- ③ マナー研修や新入会員懇談会等は継続して実施します。

## (2) 職群班活動の推進

- ① グループ就業は、センターの理念である「共働、共助」を具体化する働き方であり、技術、技能等の継承、更には、安全就業の面でも大きな役割を果たします。今後もグループ就業を進めていきます。
- ② 職種グループは全市的には着実に増えてきていますが、職種によっては設置に苦慮している区もあります。今後は支部単位での設置も考慮し、合同自主研修会の開催の計画等、活発な職群班活動を推進できるよう検討していきます。
- ③ 女性会員を中心とした「裁縫」職種は、徐々にではありますが依頼も増えてきています。引き続き全市的な職種グループ化を目指し、就業機会の拡大に繋がります。

## 5 安全就業の確保

「安心・安全なシルバー事業」の確立のためには、個々の会員が常日頃、安全を意識することが大切です。安全はすべてに優先します。今後も事故件数を軽減するよう、以下の事項を実施します。

### (1) 安全就業の強化

- ① 「安全・適正就業委員会」での就業現場視察の他、技能系3職種（植木の手入れ、冬囲い、機械除草）での事故発生時の委員による現場検証は今後も実施し、可能な限り現場の状況、分析を行い再発防止に努めます。  
また、各種会議等の機会を利用した安全就業に関する講話等は継続的に行い、事故事例を紹介する等、会員相互の意識の高揚を図ります。
- ② 事故の再発防止等の観点から、技能系職種での事故当事者の研修会再受講措置は今後も継続して実施します。
- ③ 事故防止のみならず、健康面でも会員を守る目的で複数就業を原則としている技能系3職種は、発注者にも理解を頂くとともに同じ職種で就業している会員間の情報交換の機会を活用し、安全就業の推進に関する具体的対策を検討します。
- ④ 機械除草業務での「安全就業実施度自己チェック票」による点検は、確実に実施するよう「作業別安全就業基準」に定め、事故防止対策を徹底します。
- ⑤ 事故措置審議会は事故の内容分析を行い、これに基づき会員に対する措置を決定し、再発防止に務めます。
- ⑥ 派遣事業における会員の健康の保持増進等を主な目的として設置されている「衛生委員会」は更なる体制の充実を図ります。

### (2) 会員の健康管理

センターは会員が働くことによって、自らの健康維持と社会参加が得られることを目指しており、そのためには健康であることが第一条件であり、自己管理は大変重要です。

常日頃から健康管理に努めるよう、今後も会報や地域班での諸会議等あらゆる

機会を利用し、健康診断の受診奨励を行います。

## 6 広報活動の充実

### (1) 会員への情報提供

会報「シルバーさっぽろ」には、各地域班活動の紹介に加え、会員の健康に関する情報についても掲載する等、内容の充実に努めます。

### (2) 普及啓発活動

- ① パネル展の開催、出張相談窓口を含めた相談コーナーの設置
- ② 大通公園清掃奉仕活動並びに普及啓発活動の実施
- ③ 全会員によるチラシ配布（年2回）
- ④ 屋外での就業時における「のぼり」の掲出
- ⑤ 北海道シルバー人材センター連合会を中心に、近隣センターとの共同での普及啓発活動の実施
- ⑥ 職種、業種等を考慮し、的を絞ったPR活動の実施

## 7 事務局体制等の強化

令和2年度に「北支部」を開設し4支部体制となり、発注者及び会員双方の利便性が向上し、より地域に密着した事業展開ができる体制となりました。

支部が増えたことによる効果を有効に活用し、事務局体制の強化を図ります。

## 8 第2次基本計画に基づく事業の実施

令和3年度は、「第2次基本計画（5ヶ年）」の最終年度となります。事業計画推進委員会の各部会（4部会）では、現計画における取組みの纏めと同時に次期基本計画の策定についても、その準備を進めていきます。

## 9 令和3年度の目標設定

| 会 員 数 | 契約件数    |         | 契約金額    |      |
|-------|---------|---------|---------|------|
|       | 4, 200人 | 受託事業    | 20,000件 | 受託事業 |
| 派遣事業  |         | 600件    | 派遣事業    | 5億円  |
| 合 計   |         | 20,600件 | 合 計     | 14億円 |

<参考>

| 年 度         | 会 員 数  | 契約件数 |         | 契約金額 |         |
|-------------|--------|------|---------|------|---------|
| 2年度<br>(予算) | 4,500人 | 受託事業 | 23,000件 | 受託事業 | 9億6千万円  |
|             |        | 派遣事業 | 600件    | 派遣事業 | 5億0千万円  |
|             |        | 合 計  | 23,600件 | 合 計  | 14億6千万円 |